#### La Informílo de NEC

# センター通信

### 第262号

2010年7月16日発行

名古屋エスペラントセンター Nagoja Esperanto-Centro 461-0004名古屋市東区葵一丁目26-10ユニーブル新栄301号郵便振替 00840-8-40765 [名古屋エスペラントセンター] http://homepage2.nifty.com/nagoja-esperanto/



Partoprenantoj en la 59a Esperanta Kongreso de Tokaj. Tiun tagon kongresanoj ne povis kajtadi pro forta pluvo, sed post semajno ni kelkaj provis ludi kajton.





NEC総会報告	2	Por vivi sane kaj komforte. Higieno de loĝ	ejo
坪田さんの思い出	4	Yuasa Norihisa	9
NEC総会報告	5	坪田さんの思い出伊藤俊彦	10
ハバナUKに出発前田可一	6	イアンさん、センターへ来る前田可一	11
東海大会、あいち健康プラザで	7	写真	.12
坪田さんの思い出森田明	8	編集後記	.12

#### **2010年度センター総会** 3月22日 センターで。

(出席:湯浅、山田、前田、猪飼、鈴木,山口)

1 議長及び書記の選出

議長:山口、 書記:前田

2 センター維持員の人数確認及び総会成立の確認

維持員数 (2009年9月末時点で議決権を持つ維持員資格のある者) 39名

39名のうち本日の出席者: 6名

委任状提出者:17名 合 計:23名

39名中23名と2分の1を超えており総会成立を確認

- 3 報告事項(各委員より提出された担当部門資料により討議を進めた。)
  - ・会計報告について(鈴木)
    - (1) 2009年収入及び支出(会計のみ年決算となっている。) について説明。 収入452,097円 支出794,915円 赤字額342,818円

赤字額について2008年繰越額2,162,670円より処理し次年度

繰越額を1.819.852円とすることで承認

なお、今年の赤字額342.818円と次年繰越額1,819,852円

とを比較した場合、赤字額があまりに急増しているとの指摘があり、これは例年の赤字幅10万円に対して、今年は維持員会費の納入が遅れたための現象であり、資料にある2010年に入ってからの収入状況を勘案すると例年の赤字幅10万円強が急激に変化する要因とはならない旨の説明がなされ了承。

(2) 借入金処理について

現在、実態としては一般会計(一般会計繰り入れ処理されている)でありながら借入金として取り扱っている図書部、オルキードイ及び天風基金の3借入金の取り扱いについて、一般会計繰り出し処理とすることを検討した。

オルキードイ:オルキードイを解散し、191,955円について一般会計繰り出し処理とし、借入金扱いを解消することを承認

図 書 部 :700,000円を一般会計繰り出し処理とし、借入金扱いを解消する ことを承認。

天風 基金 :300,000円を一般会計繰り出し処理とし、借入金扱いを解消することを承認。

なお、借入金欄の天風基金は解消するものとするが、天風基金 893,537円については、この基金の受け入れ経緯もあり残置する ことで了承。

- ・図書部報告について(山口)
  - (1) 図書部2009年貸借対照表及び損益計算書により説明損益計算書について:回収不能債権29,518円を雑損処理とした理由はチェコの出版者との連絡が長期に渡り取れなくなっており事実上倒産したと判断してのことである旨説明し了承。

#### (2) 貸借対照表について:

長期貸付金700,000円について一般会計繰り出し処理とし、長期貸付金を解消することを承認。

売掛金268,043円の納入状況について今年度は昨年に比し65,000円減少した主な売掛先は3名である。また、現在は売掛金販売はしていない。

買掛金計上してある天風基金12,600円については天風基金へ繰出しすることで 了承。

仮払金143,927円についてはUEA口座にありUEAからの図書購入にあてる ためのものである旨説明し了承。

(3) 2009年度出版会決算書により説明

売上状況はZamenhofa ekzemplaroの 5 冊であり現況在庫状況は

Zamenhofa ekzemplaro 736冊 tempo 82冊 エスペラント語の位置測定 4冊

である旨説明し了承。

- ・企画活動報告について(猪飼)
  - (1) 企画報告により説明

ザメンホフ際の開催結果の説明し了承

東海林講師の講演録音については内部資料とすることで了承。

今後、講演等の録音について公開を想定した用意の必要性については今後の検討課題とすることで了承。

講習会の開催等のエスペラント普及活動が必要である。

- ・情報活動報告について(湯浅)
  - (1) 名古屋エスペラントセンターの「ホームページ」開設12年目により説明 ホームページの更新 5 回、年間アクセス数657となった。開設当初から比べる と1/3から1/4と大幅に減少している旨説明し了承。

アクセスの減少については更新頻度のためではなく他の類似するホームページの増加によるものと思われるし、また、ホームページがないデメリットを防いでいるとの考えが示された。

- ・センター通信活動報告について(山田)
  - (1) センター通信報告により説明

センター通信:

センター通信を3回発行し維持員及び関係各所へネット及び宅配便で発送した。 エス文の原稿について文通相手等への原稿依頼等を考えていくことで了承。 発送時の名簿のプリントアウトについて鈴木委員が作成することで調整。 センター通信のエスペラント名称について

"La Informilo de NEC"とすることで承認

(2) FONTO などの製本:

FONTO, GAZETO, El Popola Ĉinio について製本発注した。

1冊5,300円~5,500円

FONTO、GAZETO については伊藤俊彦氏の経費負担。

El Popola Ĉinio についてはセンター負担 センター蔵書の活用についてリスト化等の検討が必要である旨確認

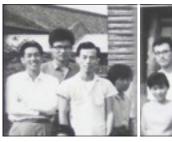
- ・総務活動報告について(前田)
  - (1) 総務活動報告により説明 センター委員会の開催状況等を説明し了承。
  - その他

来期の役員については留任とすることで決定。 各委員が本日の原稿を訂正し山田委員へメールすること。



#### 坪田さんの思い出

坪田幸紀 (1940-2010)さんは福井市生まれ。15歳でエスペラント学習を開始。京大法学部卒。ユニチカ勤務。早稲田裕氏の後を受けて1990年までSAT日本支部のperanto. 1981-1987名古屋支社勤務。1990年事故のため以後療養生活。





今から50年前、野辺山合宿。信州大学農学部で。写真右:右から2人目が坪田幸紀さん、写真左:左から2人目が森田明さん。

La Movado やRevuo Orientaの最近号で坪田幸紀さんの訃報を知りました。伊藤俊彦 さんと森田明さんが追悼文(10ページと8ページ)を書いてくれました。

当時坪田さんの社宅が緑区にあったので、市内でエス会例会のあったあと時々クルマで送ったこともありました。30分ほどの道のりでしたが、 Lanti について何も知らない運転中の私にいつも特別講義がありました。坪田さんの親族に熱心なエスペランティストがおりその影響でエスペラントを始めたと聞きました。名古屋では、伊藤さんやそのほかのエスペランティストに影響を与えた人だったんですね。同年輩の人の訃報というのは心傷みます、Lanti のことを聞いたのが20年前だったわけです。 山田義

## 2009年度総務報告前田(総務担当)

2009年総務担当活動 報告

- ・来信郵便物の整理を促進した。
- ・地方会等の機関紙 をセンター所有のA5 ファイルを活用し時 系列にファイリング した。
- ・概ね月1回開催されるセンター委員会の議事・報告事項を 文書化しセンター委員へ

メール報告した。

・室内の環境美化を 図るため、ごみ処理 を徹底し、猪飼委員 の協力のもと不要物 品を

除去し環境美化に 努めた。

毎月1回程度室内 清掃を実施した。

6/16にはセンター で使用しなくなった パソコン本体とキー

#### 2009年の収入・支出・借入金は次のとおりである。

収入

2008 年の繰越金	2,162,670
会費	339,500
寄付	13,132
その他	74,260
部屋使用料	25,000
利子	205
小計	452,302
8†	2,614,767

#### 借入金

借入金	図書部	700,000
	天風基金	300,000
	オルキートイ	191,955

支出

428,400 151,200 7,500
7,500
82,655
26,895
26,120
2,450
2,220
66,475
794,915
1,819,852
2,614,767

2009 年繰越金内訳

郵便饭替口座	568,348		
現金	113,902		
郵便貯金	244,065		
天風基金	893,537		
81.	1,819,852		

委員会・月曜会

市岡邦子

川地善則

川地貴子

山田義

湯浅典久

寄付合計

3,612

3,000

3,000

3,000

20

500

13,132

#### 2009年の収入支出の主な概要等

- 収入のその他はザメンホフ祭(47,500円)、講習会収入(10,000円)、JEI愛知県支部(2,560円)、東海大会古書売上(14,200円)です。
- 支出の主なものは、ザメンホフ祭での支出(43,320円)、NIA 会費(10,000円)、Movado代(3,800円)、FONTO代(2,455円)、講師謝礼(6,900円)などです。
- 繰越金は前年度の 2,162,670 円から次年度への 1,819,852 円と 342,818 円減少しました。これは昨

年と比較して、会費の収入が約20万円、寄付が約10万円減少したためです。

- 会員数はほとんど増減が無く、会費が減ったのは、例年年末に出す督促状を出さなかったため、12 月の収入が減ったことが第1 の要因です。2009 年中の寄付は右欄のとおりで、13,132 円(昨年は128,740円)で、大口の寄付が減っています。ザメンホフ祭での寄付もこの中に計上してあります。寄付していただいた方にはあらためてお礼申し上げます。
- 例年借入金として計上しています図書部・オルキードイ・天風基金からの借入金については今回の総会で、寄付扱いとして取り扱うことに決まったため、来年度の会計上では借入金は0円となります。

ボード及びプリンターを無料で処分した。モニターについては猪飼委員が引き取ることと した。

- ・ビル管理人の要請による室内電気関連の工事に立会した。
- ・センター委員会開催日等

2009年

5月11日 6月8日 7月6日 9月7日 10月6日 11月2日 12月1日 2010年

1月26日 3月1日 3月22日 (総会)

その他、毎月1回程度 名古屋エスペラント会が使用

#### ハバナUKに出発

この夏、キューバのハバナで開かれる世界大会には東海から参加者2人。前田可一さんと斎木彰さん。7月6日中部国際空港からガテマラへ、そこで11日間の大会前遠足があり、そのあとハバナで世界大会に参加、キューバ国内を世界のエスペランティストと観光、帰国は8月3日。下記は前田可一さん提供。



Gvatemalo →

←Kubo

Saluton karaj amikoj,

Jen kelkaj konsiloj pri la vojaĝo en Gvatemalo:

- -Kunportu fotokopion de via pasporto.
- -Kunportu ateston pri vakcinado sed laŭ mia propra longdaŭra sperto, tiu dokumento ne estas petata.

Mi ankaŭ malkonsilas uzi preventajn kontraŭpaludismajn kuracilojn,- kuracajn post konsulto de via kuracisto vi povas elekti sed utilas kunporti produktojn por forpeli la moskitoj kiujn ni povus renkonti en la varmaj partoj de la lando.

Kvankam mi neniam estis en Gvatemalo en Julio, la klimato estas iom malvarma en la altaj montaroj –precipe dumnokte- printempa en la ĉefurbo kaj Antigua, varma kaj pluva en la malaltaj ebenaĵoj –Tikal, Rio Dulce...

- -Do kunportu malpezan pluvimunan vestaĵon, almenaŭ unu varman vestaĵon, kaj banvestoj povas utili –varmaj fontoj, Rio Dulce...
- -Por renkontiĝi en la flughaveno estas nur unu pordega elirejo. Post trapaso de la pordego iru dekstren se estas elekto.

Por tiuj kiuj alvenos je la sepa de Julio per IB6347 mi estos en la sama flugo.

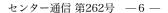
Por la aliaj estos mi aŭ Aleks , juna indiĝeno kiu atendos vin en la flughaveno kaj okupiĝos pri via transporto al Antigua.

Kaze ke okazu iu problemo, por la du unuaj noktoj la hotelo en Antigua nomiĝas "Los Bucaros", 7ª avenida Norte, N° 94, Tel: 78 32 23 46

Ĝis baldaŭ kaj estu certa ke tiu ĉi vojaĝo lasos al vi neforgeseblajn memoraĵojn.

Amike

Philippe



#### 東海大会、あいち健康プラザで

第59回東海エスペラント大会 la 59a Esperanta Kongreso de Tokaj は2010年5月22日—23日愛知県東浦町所在の、宿泊施設並びにレストランと温泉と会議室のある「あいち健康プラザ」で開かれた。今回は、東海エスペラント連盟の磯部晃さん後藤好美さんが健康とエスペラントをテーマに企画した。20名の参加があった。



みのエスペラント で講演の内容を説明したあと、ゴキブリ対策、カビ対策、シックハウ スの3点について、現代の住宅の特性となっている気密性や化学物質との関係から発生 する問題を解決し、住まいの衛生を確保するために役に立ついろいろな対策がユーモア を交え分かりやすく語られた。湯浅さんは名古屋エスペラントセンターの会員でもあ る。朗読劇は Ĉambro Ĉarma のメンバー8名が3話を披露した。一話ずつ日本語で物語 の導入場面を説明したあと、出演者それぞれが登場人物の名前を首から下げて台本を開 いて朗読した。視覚障害者の中村進さんは電子点字機を駆使した朗読を観客の前で実演 した。出し物は、"Fanfaronema Imperiestro"、"Saĝo-Sako"、"Bona Restoracio, sed multekosta"の3話。その後、斎木彰さんが Kabe の "Almozo"を、山田義さんが Marteno Lutero Kingo の 演説 "Revon havas mi"を朗読した。「大会参加者の時間」 ではほとんどの参加者が前に出て自己紹介と近況を語った、その後で山田さんの歌唱指 導で "La Sonorilo de Nagasaki"を全員で歌い楽しんだ。また、東海エスペラント連盟会 計の後藤さんから2008年及び2009年の会計報告がなされた。1日目の行事の終りに大会 参加者全員で記念写真を撮った。夕食を11Fの展望レストランでとったあと、再び会議室 で飲み物と菓子を出して交流を図った。1年前から磯部さんの指導で勉強している地元の 女性ふたり(8p.写真)もここまで参加した。宿泊棟では男性は1室に集まって遅くまで エスペラントを話題にして楽しみ、女性たちは温泉に入ったあとそれぞれの部屋で遅く までおしゃべりだった。2日目はあいにくの雨となり、期待していたエスペラントの凧 揚げは中止。会議室に集合。まず後藤さん主導のエスペラントによる両手ジャンケンと 数字遊び、Akiraさん手製の vorto-kartoj を使って単語作りゲームがあり、斉木昌代さん による景品付きビンゴゲームなどの室内ゲームを楽しんだ。最後に2011年の東海エスペ ラント大会の担当を恵那のエスペランティストまたは Ĉambro Ĉarma でということに なった。最後に2日目参加の人などの自己紹介をして終了した。 名古屋エスペラントセンターが辞書や本を展示販売した。



坂 美奈子さん

# 片岡 みち枝さん

#### 自己紹介で壇上に立った参加者たち





第59回東海エスペラント大会会計報告

2010.6.1 会計:後藤好美

収入	円	人数	円	支出	円
参加費一般	2 000	15	30 000	会議室使用料	18 100
障害者	1 500	2	3 000	講演料	10 000
家族	800	3	2 400	案内状印刷送料	2 788
宿泊	9 000	15	135 000	プログラム印刷	750
夕食のみ	3 000	4	12 000	懇親会茶菓子	2 614
寄付			552	宿泊費	80 750
昨年度残高			4 800	食事代	72 750
収入合計			187 752	支出合計	187 752

#### 坪田さんの思い出

森田 明

1961年7月、JEIが主催して長野県野辺山で開かれた「会話能力錬成合宿」で初めてお会いしました。穏やかな童顔がたちまち眼光鋭い詰問調となるかと思えば、次の瞬間には破顔一笑するという変化の激しさに翻弄されっぱなしだったのを覚えています。頭の回転が速く、しかも博覧強記とあって、論議はいつも奔騰しました。その一端は千布利夫を論じた文章を含む著作集『葉こそおしなべて緑なれ…』(リベーロイ双書V、1997)でもまざまざと読み取ることができます。事故による重大な負傷のため、蓄えた知見が閉ざされてしまったのは実に残念としか言いようがありません。名古屋支店勤務が終わる1987年冬、夜更けに電話で「伏見に"とびきり"という居酒屋がある。待っているから今すぐ来てくれ」といわれました。当方は病妻をかかえていて、とても夜間の外出などできない、と返事すると、高揚した調子が一転し「そうか、きみもそうだったのか」で話が切れました。これが声を交わした最後となりました。

#### Por vivi sane kaj komforte. Higieno de loĝejo Prelego de Yuasa

Mi estas komunuma funkciulo de Nagoya, kaj mi laboras ĉe la publika sanitara oficejo (保健所). La publika sanitarejo klopodas por konservi civitanan sanon. En la publika sanitara oficejo, laboras personoj por multaj okupaj kategorioj. Ekzemple publiksana flegistino, flegistino, doktoro, denta higienisto, menshigiena konsilisto, klinika ekzamena teknologisto, radiologia teknologisto, dietisto, manĝaĵo-higiena inspektisto, ekologi-higiena inspektisto, poluad-inĝeniero, ktp. El tiuj okupaj kategorioj mia laboro estas ekologi-higiena inspektado. Laboro de ekologia sanitareco estas inspektado pri ekstermado de ratoj, blatoj (ゴキブリ), kaj akaroj (ダニ) kaj pri akvo de konstruaĵoj,frizejoj, kinejoj, publikaj banejoj kaj naĝejoj ktp.

Japanlingvan hejmpaĝon "Higienaj informoj pri la loĝejo (住まいの衛生情報) ("http://www.ylw.mmtr.or.jp/~noryuasa/" http://www.ylw.mmtr.or.jp/~noryuasa/) mi malfermas ekde 1995 laŭ mia statuso kiel ekologi-higiena inspektisto . Multaj vizitantoj enrigardas mian hejmpaĝon. Mi ĉi tie esprimas koran dankon al ĉiuj vizitantoj al la hejmpaĝo, ĉar la tuta nombro superas 370,000.

Hodiaŭ mi parolos pri tri temoj. Unue pri borata-acida pastaĵo (ホウ酸ダンゴ) por ekstermi blatojn.

Baldaŭ venos sezono kiam blatoj facile povas multiĝi. Kvankam jam estas diversaj insektmortigiloj kontraŭ blatoj, mi hodiaŭ prezentos borata-acidan past-bulon, kiun oni povas facile fari hejme el rizbrano  $(\exists \, \not \exists \, \not \exists \, b)$ . La borata-acida past-bulo kiel insektmortigilo estas originalaĵo de Nagoya. Jen mi prezentos la recepton.

Due pri ŝimo-preventado dum la pluvsezono.

Japanio havas buntajn sezonojn : la kutimajn kvar sezonojn de printempo, somero, aŭtuno kaj vintro. Krom tiuj oni povas ankaŭ aldoni la pluvsozonon. Japana pluvsezono estas alt-temperatura kaj tre humida. Dum tiu tempo ĉambroj facile ŝimas.

Mi parolos pri la mekanismo de ŝimado kaj la kontraŭrimedoj kontraŭ ŝimoj. Trie pri la tiel nomata *Sick-house syndrom* (malsaniga-doma sindromo)

Ĉu vi ne havas la sperton, ke enirante nove konstruitan domon vi sentas jukojn en okuloj aŭ kapdolorojn? Tio estas simptomo de malsanig-doma sindromo pro la endoma kemiaĵo. La difino de malsanig-doma sindromo estas tiel: se oni eniras ĉambron kaj ekestas la simptomo, kaj se li eliras kaj la simptomo malaperas, tio estas la malsanig-doma sindromo.

Pro tio, la leĝoj pri la normo de dom-konstruado estis renovigita en 2003, kaj la nove konstruota domo estos devigita enkonduki rimedojn kontraŭ malsaniga-doma sindromo. Mi volas priparoli detalan enhavon surbaze de la disdonita materialo.

山口真一著「仏教エスペラント運動の歴史と現在」

教心寺住職の山口真一が『アリーナ』第8号(中部大学2010発行)に仏教とエスペラントについて10ページを使って書いている。エスペラントを紹介し、100年の仏教エスペラント運動史を詳しく述べる。今の時代は、仏教界とて英語がはばをきかせている。仏教学者も布教師も英語ができないと世界に通用しないとしながらも、「英語全盛期はここ100年から200年の間のことである。仏教は2500年の歴史を有し」と、日本の仏教界における言語問題についても苦悩を書いている。日本だけではなく外国の Budhismo 運動にも触れており、機関誌、著作物を写真入りで紹介。著者は日本の仏教エスペラント運動に身を呈している僧侶である。

#### 坪田さんの思い出

伊藤俊彦

坪田さんの著書『葉こそおしなべて緑なれ…』(リベーロイ社、1997年)巻末の年譜を見ると、1981年4月から87年3月まで、ユニチカ名古屋支店に勤務されていたとのことであるから、この間にセンターに顔を出されていたのであろう(その後も、名古屋市内の病院の事務長として勤務されたと仄聞するが、この間はほとんど接触はなかった)。

このころ私は坪田さんと一緒に Borsboom の Vivo de Lanti を読んだ。私は、仕事帰りで疲れていたせいもあり、1対1のこのゼミの最中に、ついうたた寝したりして、よい生徒ではなかった。手元にある同書を見ると、24ページに10月1日の日付があり、175ページに9月17日の日付がある。このゼミは一体、何年の10月から始まり、何年の9月に終わったのか。当時の日記か手帳を調べればわかるだろうが、今はそれだけの気力がないので、とりあえず事実だけ記しておく。

それでも当時、ランティについて競う如くLa Movado と Revuo Orienta に文章を発表したことを思い出す。坪田さんの書かれた文章は上記の著書に収録されている(同書の書評を La Movado に書いたような気がする)。私は、La Movado に「ランティと日本のエスペランチストたち」と題して、429号(1986年11月号)から439号(1987年9月号)まで連載したのだった。それと、1985年から翌年にかけて、同じく同誌に、坪田さんと交代で「私の本棚から」というタイトルで、本に関するエッセイも連載したようである。上記年譜を見ていて思い出したが、何について書いたのか全く記憶がない。これもどこかにスクラップが残っているとは思うが。

勉強会のあと、近くの居酒屋へ飲みに行ったりした。坪田さんは、東新町の交差点から 少し北に行ったところにあった、白龍という店が好きで、無口な亭主がいるカウンターだ けのその店でよく飲んだ。まだあの店はあるのだろうか。

その他、私事では、披露宴に出ていただいたり、飲んだあと、ご自宅に泊めていただいことも一度あった。翌日、エスペラント関係のいろいろな資料を見せていただいたりした。奥様はご迷惑そうだったが。名古屋を離れられてからは、年賀状のやり取りぐらいの付き合いであったが、頂戴する年賀状は奥様の代筆と思しく、あの特徴のある書体は見ることができなかった。坪田さんにいろいろ教えていただいたのは、もう20数年も前のことである。以前、私が La Movado と RO に書評を発表するたびに、山口美智雄さんは、それに対する感想と激励のハガキを送ってくれたものだった。その山口さんはすでに亡く、坪田さんも鬼籍に入られてしまった。まことに往事茫々である。坪田さんは、長い療養の生活をどのような思いで過ごされたのであろうか。ご冥福をお祈りする。

山口さんを経由して、イアンという方がセンターの蔵書を研究のために閲覧したい、 との連絡がありその後、猪飼と前田で対応することとし、猪飼さんを通じて連絡調整し 5月25日(火)10時30分頃センターで待ち合わせることになった。

当日、やってきたイアンさんはカジュアルなワイシャツにズボン、リュックサックのいでたちの34歳のオックスフォード大学の大学院で日本の現代史を研究している恰幅のよい気さくな人であった。

1930年代を中心とする日本のエスペランチスト達の活動に焦点をあてた研究により陰影のある博士論文を書こうとしているとのことで今回の訪日もその資料調べを目的とするものであった。彼の大学院で学んできた日本現代史は公式主義的でフラットな印象をもったため、やや異なった視点から論文をまとめて行く予定で研究を進めているとのことであり、今回の訪日は5月と6月の予定でJEIの蔵書を中心に全国の各地方のエスペラント関係資料にもあたっているとのことであった。

センターの蔵書については、山田天風(弘)さんの資料等をデジタルカメラで記録した。この地方でのエスペラントの歴史に詳しい人として磯部晶策さんや永瀬さん、伊藤さん、三浦さん等の名前をメモした。由比忠之進さんも知っており日本人エスペランチストについての蓄積の深さを窺わせた。

日本には以前、オックスフォード大学の数学科を卒業し、証券会社にいた時に滞在したことがあり、その時に日本語を覚え、日本の文化や歴史に興味を持つたということで、上手な日本語を話し、漢字の読み書きも堪能であり、数学から歴史への転換も苦も無くやってしまう頭脳は、どのような論文を仕上げるのだろうという興味をおぼえた。また、イギリス人の歴史学者の歴史意識が世代により変化しているのかと質問したところやはり若い世代と古い世代との変化は生じてきているとのことであった。

さらに、イギリスは情報戦略が得意なところから、MI6は本当にオックスフォード大学とケンブリッジ大学の出身者で構成されているのかと質問したところ、以前はそうであったが現在ではその弊害もあり他大学の出身者もいる…、でも僕はそちら向きではないから違うよと笑って答えた。

日本人が情報戦略に弱いのは、同じ島国なのに・・・とめどなく質問できそうであったが・・・新幹線の14時40分発の時間に間に合うように、イアンは徒歩で名古屋駅に歩き出した。

はじめて、外国からのセンターの蔵書利用の研究者が訪れた。センターの資料収集も 無駄ではなかった。存在価値の発現と言っていいのかもしれないとフト感じた。



La akordionludanto kiu staras antau la kongresejo tenas mian akordionon, kiun mi alportis. Proksime de la fino estis la intervjuo de TVP farita al mi. En la sama vespero oni povis spekti televide.



Jamada Tadaŝi (maldekstre) prelegis pri kantaroj alilandaj kaj japanaj en esperantista kunsido de Nagano, 19 jun en la urbo Matumoto. Foto ĉe tagmanĝo en restoracio.



Ikai Yosikazu donacis al NEC kelkajn ilojn por bindi librojn.



Bildo sur papero estas sendita de ĉina esperantisto, kiu skribas salutvorton por la kongreso de Kansajo. Impresis min la ruĝo de la floro. Ruĝa koloro estas ja ruĝa profunde kaj hele. En la 57-a Kongreso de Esperantistoj en Kansajo, en la urbo Nara. 豊明市にある藤田保健衛生大学病院に行く機会があり、貼ってある大きなポスターにエスペラントの標語を見つけた。 ――――Ni, kuracistoj,

kun senlima simpatio por malfortuloj kaj ĉiam kun nenia aroganteco.1972.11 と、藤田啓介 (創設者) の標語がある。

sinoferu al medicino



【編集後記・山田義】 前号の La Sonorilo de Nagasaki の2番歌詞の rozali' は綴りが間違いでした。正しくはrozari'です。訂正してください。

読みやすい誌面を作りたい、といつも考えます、原稿をください。写真はコメントを添えて送ってください。デジカメ写真は saluton@mac.com へ